

要 旨

試験委託者 環境省

表 題 ベンザルアセトンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する急性遊泳阻害試験

試験番号 No. 2005-生109

試験法ガイドライン

本試験は、厚生労働省医薬食品局長、経済産業省製造産業局長、環境省総合環境政策局長連名通知「新規化学物質等に係る試験の方法について」(薬食発第 1121002 号、平成15・11・13 製局第 2 号、環境企発第 031121002 号、平成 15 年 11 月 21 日、平成17年 4月 1日最終改訂)に準拠して実施した。

- | | |
|--------------|---|
| 1) 被験物質 | : ベンザルアセトン |
| 2) 暴露方式 | : 止水式 |
| 3) 供試生物 | : オオミジンコ (<i>Daphnia magna</i>) |
| 4) 暴露期間 | : 48 時間 |
| 5) 試験濃度(設定値) | : 対照区, 10, 13, 18, 24, 32 mg/L
公比; 1.3 |
| 6) 試験溶液量 | : 100 mL/容器 |
| 7) 連数 | : 4 容器/試験区 |
| 8) 供試生物数 | : 20 頭/試験区 (5 頭/容器) |
| 9) 試験温度 | : 20±1 °C |
| 10) 照明 | : 室内光、16 時間明/8 時間暗 |
| 11) 給餌 | : 無給餌 |
| 12) pH | : 試験溶液の pH調整は行わない |
| 13) 分析法 | : HPLC 法 |

結 果

1) 試験溶液中の被験物質濃度

被験物質濃度の軽度の変動は、主に光による分解の影響と考えられたため、暴露開始時および暴露終了時の測定値を用いて幾何平均値を求め、各影響濃度を算出した。

2) 24 時間暴露後の結果

50 %遊泳阻害濃度 (EC_{50}) : 18 mg/L (95 %信頼限界 : 16 ~ 19 mg/L), Probit
0 %阻害最高濃度 : 13 mg/L
100 %阻害最低濃度 : 23 mg/L

3) 48 時間暴露後の結果

50 %遊泳阻害濃度 (EC_{50}) : 15 mg/L (95 %信頼限界 : 14 ~ 16 mg/L), Probit
0 %阻害最高濃度 : 9.7 mg/L
100 %阻害最低濃度 : 23 mg/L